

**産学連携による実践型人材育成事業 ―長期インターンシップ・プログラム開発―
最終評価結果**

大 学 名	徳島大学
プロジェクト名称	経営センスを有するπ型技術者の協働育成
事業責任者	ソシオテクノサイエンス研究部 教授 山中英生

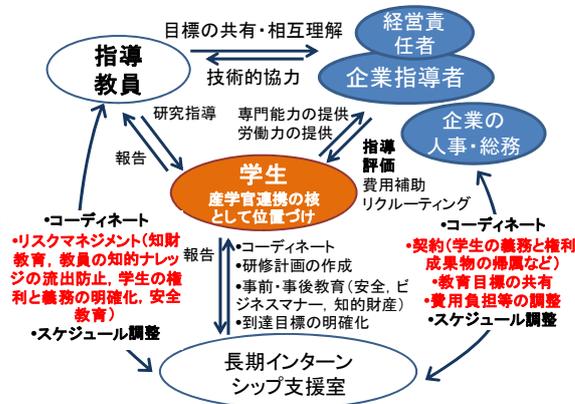
事業概要

本事業は、専門技術と経営に関する素養を持って工学的解決策を提案できる、課題解決型技術者（経営センスを有するπ型技術者）の養成を目的とし、大学院博士課程（前期・後期）の学生を対象に、「共同研究型」「企業提案型」「研究準備型」の3つのタイプの長期インターンシップを行う取組である。①技術経営に関する事前事後学習、②企業、行政等への長期派遣（長期インターンシップ）③経営責任者への成果プレゼンテーションによる成績評価が特徴である。

本教育プログラムの構成

博士前期課程		プ ロ ン グ ラ ム （ M ） 6 単 位
事前事後学習 （下記科目から3つ以上履修）		
ニュービジネス特論	2単位	
知的財産論	2単位	
ビジネスモデル特論	2単位	
技術経営特論	2単位	
課題探求法	2単位	
プレゼンテーション技法	2単位	
プロジェクトマネジメント	2単位	
博士後期課程		シ ン ド （ D ） 4 単 位
事前事後学習 （下記科目から2つ以上履修）		
知的財産論	2単位	
ビジネスモデル特論	2単位	
技術経営特論	2単位	
課題探求法	2単位	
プレゼンテーション技法	2単位	

教育におけるそれぞれの役割



得られる効果（評価結果）

立場	得られた効果
受入企業等	<ul style="list-style-type: none"> 協働テーマのスピード、質の向上 大学との連携強化 研究開発人材確保
企業指導者 総務・人事	<ul style="list-style-type: none"> 社員の指導力向上 社内活性化 産学連携教育の実績 大学内における知名度の向上
学生	<ul style="list-style-type: none"> 専門分野における社会的責任の理解 学習意欲の向上 キャリアビジョンの明確化
指導教員	<ul style="list-style-type: none"> 産学官連携強化 協働テーマのスピード、質の向上 博士後期課程進学率向上
大学 長期インターンシップ支援室	<ul style="list-style-type: none"> 長期インターンシップモデルの確立 産業界ニーズの把握 産学連携教育におけるリスクマネジメントのナレッジの蓄積

詳細については、http://www.tokushima-u.ac.jp/e/campus/educational_reform/ を参照。

最終評価結果

（総合評価） A：所期の計画と同等の取組が行われた

コメント

《優れた点》

- 多くの学生が参加した他、事業終了後もインターンシップ支援体制を継続し発展させている点が高く評価できる。
- 産学連携型長期インターンシップを3分野（モノづくり、環境制御、電子情報通信）のカリキュラム編成によって具体化し、地域企業と連携・推進した点が工夫されている。
- 企業側から、「学生の指導に当たった担当者の指導力が向上した」「博士後期課程学生の採用に前向きになった」との評価がされている点は、今後の取組を進めていく上でもプラスである。
- 建築士試験の実務経験のための単位化に利用するなど、実用的な本プログラムの活用は、他の取組には見られない良い点である。
- 本事業に参加した学生が、プログラムに関連する企業等に多く就職していることが評価できる。

《今後に期待する点》

- 技術経営的センス、「π型」という言葉で述べられている内容が今ひとつ具体性を欠いているため、定義を明確にして、その独自性を誰もが分かるように整理・明確化して欲しい。
- 3タイプのインターンシップについて、目標や教育手法等の違いを具体例で明確にしていくことが望ましい。
- 学内外へのより一層の情報発信や企業との連携により、継続して実施していけるモデルを導き出していくことが期待される。